

まちづくり会社が「津別フードホール」開催
二日間で約2700人が来場し
地元の味を楽しむ

2月23日・24日の二日間、「津別フードホール」が、さんさん館で開催されました。フードホールとは、それぞれの店舗が小さなブースを構え、こだわりの地元食材を使用した本格的な料理を提供したり、食料品を販売する「新しい食を楽しむ場所」のことで、まちづくり会社が主催し、町内の飲食店やミシュランガイド掲載のシェフなど、計20店舗が出店。おなじみクマヤキや、地元産の牛肉を使った流水牛カツカレー、ヒレステーキバーガーなどが販売されました。



▶さんさん館に特設テントを増設した会場の様子

▶店舗に行列をつくる来館者

新しい働き方の拠点として情報発信

2月23日、幸町の空き家に、コワーキングスペース「ジンバ」が開業しました。コワーキングスペースとは、異なる業種の人たちが個々に仕事をする場所として共有できる空間のことで、津別町では初の試みとなります。空き家は築76年の物件で、町の空き家リノベーションを推進するパイロット事業として認定され、改修が進められてきたものです。

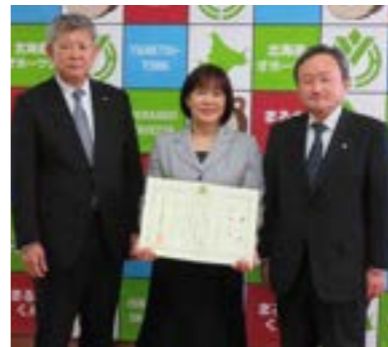
この日はオープニングイベントとして、セレモニや内覧会、トークイベントが行われました。運営は、インターネットテレビ局の「道東テレビ」が行い、同局の映像発信スタジオやコワーキングスペースとしての役割はもちろん、起業のきっかけとなることなどが期待されています。



▲テープカットならぬ丸太カットでオープンを祝う関係者ら

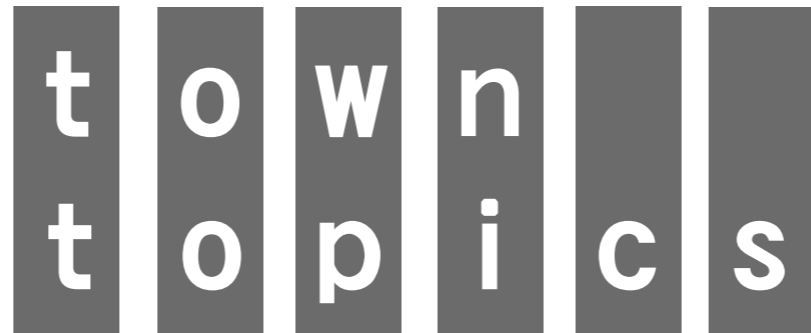
道の女性・高齢者チャレンジ活動表彰 川瀬保子さんが最優秀賞を受賞

平成30年度女性・高齢者チャレンジ活動表彰事業において、津別町の川瀬保子さんが最優秀賞（地域社会参画）を受賞し、2月25日、林業研修会館で藤田二オホーツク総合振興局長から賞状が伝達されました。同事業は、道が農業経営の改善や起業化、地域振興などのために活動している女性農業者や高齢者を表彰する制度です。



▶左から佐藤町長、川瀬さん、藤田局長

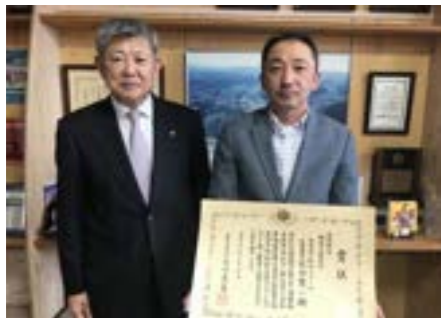
今回の川瀬さんの受賞は、津別町グリーンツーリズム運営協議会に加入し、修学旅行生や新規参入希望者などを積極的に受け入れているほか、牛肉を用いた加工品の販売カフェの運営など、多様な活動が認められたことによるものです。



まちのわだい

第5回全国自給飼料生産コンクール 石川賢一さんが農林水産大臣賞受賞

第5回全国自給飼料生産コンクール（主催 一般社団法人日本草地畜産種子協会）において、津別町の石川賢一さん（有限会社石川ファーム代表取締役）が、最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。2月28日、町長室を訪れ佐藤町長に受賞の報告をしました。



▶賞状を手にする石川さんと佐藤町長

今回受賞したのは飼料生産部門で、先進の有機酪農経営に取り組み、トウモロコシを始めとする飼料作物の有機栽培技術をマニユアルとしてまとめるなど、有機酪農普及への貢献が評価されました。

万が一に備え、犯罪被害から身を守る 町防犯協会が新一年生に防犯ブザーを寄贈

津別町防犯協会（中川孝敏会長）から教育委員会に防犯ブザーの寄贈があり、3月8日、教育長室で贈呈式が行われました。寄贈された防犯ブザーは、津別小学校の新1年生全員に配られ、登下校の際などに犯罪被害から身を守ることに役立てられます。宮管教育長は「使用されるようなことがないのが一番ですが、児童の身を守るための道具として活用したいと思います」と、お礼を述べました。



▲左から宮管教育長、防犯協会・中川会長、同・加藤副会長

林野火災予防啓発作品・ポスター原画の部 津別小の小林くんが知事賞の優秀賞受賞



▲（左）受賞ポスター（右）左から津別小学校・平山校長、小林くん、オホーツク総合振興局・宮谷部長

平成30年度林野火災予防啓発作品・ポスター原画の部（主催 北海道）で、津別小学校6年生（3月時点）小林空くんの作品が優秀賞を受賞し、3月6日、同校で表彰状の伝達式が行われました。道内580点の応募作品の中から最優秀賞に次ぐ優秀賞（2点）に選ばれた小林くんは、オホーツク総合振興局・宮谷地域産業担当部長から賞状と記念品を贈られ、「図工の時間に火をイメージしてデザインを考えました」と、笑顔を見せました。

本に親しみ読書の楽しさを発見する「ブックセカンド」事業 こども園の年長園児に絵本をプレゼント

3月8日、就学前の子どもに絵本を渡す「ブックセカンド」事業により、認定こども園・こどもの杜の園児に絵本がプレゼントされました。

読書の楽しさを発見するきっかけとなり、日常的な読書の推進につなげる事が目的で、今年で2年目になります。この日、こども園を訪れた宮管教育長から、4月に小学校入学予定の年長組の園児一人ひとりに、『しゅくだい』（いもとようこ文・絵）という絵本が手渡されました。



▲教育長から絵本を手渡される園児たち

木のおもちゃと親しむ つべつ木育ランド開催

3月2日・3日の二日間、小さなお子さんが木のおもちゃで遊ぶことができる「つべつ木育ランド」（主催 津別町／「社・オホーツク森林産業振興協会」が、中央公民館で開催されました。会場には二日間で156人が訪れ、北見市の『オホーツク木のプラザ』からやってきた木のプール、もくば、パズルなどの木製遊具に親しみ、オリジナルのルームプレート作りなどにも取り組みました。



▶木のプールで遊ぶ子どもたち